

稲グリ新聞

いよいよ定演本番です

「暗譜」の仕上げ頑張りましょう

定演総括責任者・加藤 晴生(三七)

夏休みが例年より少なく、また九月の合宿では史上最大の参加者数を記録するなど、これまで大いに盛り上がった練習を続けて来ましたが、その成果を問う定演も、いよいよあと一週間と迫って来ました。期待と不安で胸の高鳴りを覚えるのは出演予定メンバー誰しも同じでしょう。幸いにチケットの売行きも上々で、S席は完売、A席もオーバースペアイ気味、こうなればあとは歴史に残る名演奏を目指さばかり。諸兄の最後

後のひと頑張りを見守る次第です。ソ連演奏旅行の成功が広く伝えられるように、各方面から一躍注目を浴びるようになり、ソ連演奏旅行記念と銘打ってはいませんが、ソ連の時は曲目がかなり変わり、新曲も少なくない状況です。油断して本意な結果にでも終わるものなら、ソ連での成功はウソだとも言われかねないし、またそう言われても仕方がありません。逆に、成功を収めることができれば、稲グリにとってエポックメイキングの定演となり、必ずやクラブの将来に大きな明るい展望が開けるものと信じて疑いません。今回の定演はこの意味で、きわめて大切な演奏会と言ったことができます。演奏にあたっては、全ステージ(アンコール曲を含む)暗譜で歌うことになりました。楽譜をよく見直

す、指揮者の注意を思いおこす、練習時には譜面をはずす、等々、残された僅かな時間は積極性、主体性、集中力といった自分との戦いが要求されます。ぜひとも、一人ひとりの努力が結実した良い演奏会を創り上げましょう。

なお、定演はステージのみならず、打上げ会まで終えて完結です。同期で出演されない方々にも、ぜひこの会には参加いただけたら、ぜひ呼掛けの方をよろしく願います。多くの参加者を得て、演奏会の成功を共に祝い、稲グリ仲間やそれを暖かく見守ってくださる方々、種々お世話くださった方々が、友好を深め、絆を強める機会にしたいと願っています。

(演奏会に、早大次期総長小山宙丸氏、ソ連大使館からコマロフスキー文化担当参事官他四名程の方が出席することが確定。)

幹事会の招集

幹事会を左記のとおり開きますので、会長以下、マネージ部門、演奏部門の各幹事はご出席ください。

平成二年十月十日
幹事長 加藤 晴生(三七)

記

- 日時 平成二年十月二十七日(土) 午後六時半
- 会場 庄や新大久保店
- 議題 ①第二十三回定期演奏会の総括 ②その他

以上

定演記録物の販売のこと

ビデオテープ(一本五千円の子定)カセットテープ(価格未定)制作・富永映像企画
写真(ステージ及び打上げ各種)制作・フオルク
撮影・スペースフォト

稲グリ練習日程(平成2年)

- 12日(金) 奉仕園(小) 18:30~21:00 阿波(堀)
- 13日(土) 奉仕園(小) 17:30~21:00 ウェストサイド・ストーリー
- 14日(日) プレイス24 13:00~18:00 7日と同メニュー(堀、ハイン)
- 16日(火) 東混練習場 18:30~21:00 ロシア民謡(岡村、堀)
- 20日(土) 奉仕園(大) 13:00~17:00 ゲネプロ(堀)

- 21日(日) 第23回「稲門グリーンクラブ定期演奏会」
渋谷BUNKAMURA・オーチャードホール
15:30 開演
18:30~打上げ 東急ゴールデンホール
(渋谷駅前・東急文化会館8F)

- 23日(火) 東混練習場 18:30~21:00 熱海・特ステ曲
- 30日(火) " " " "

- 11月4日(日) 特ステ「熱海道遙祭」(全日)
11:00 各自電車等で熱海駅改札口前集合
バスにて熱海観光会館へ(歩10分)
昼食、ステージリハーサル
13:30 開演 16:00 前には終演
16:40~18:30 熱海後楽園ホテルにて打上げ
18:30 現地解散(各自電車等で帰京)

- 6日(火) 東混練習場 18:30~21:00 マリオン・特ステ曲
- 13日(火) " " " "
- 20日(火) " " " "

- 27日(火) 特ステ「イトウテルミー10周年記念会」
19:00 集合 20:00 本番 新高輪プリンスH

- 12月1日(土) 早大グリーOB会・稲グリ「平成2年度総会」
第9回「グリークリスマス」 半蔵門会館

- 4日(火) 東混練習場 18:30~21:00 マリオン曲
- 11日(火) " " " "

- 15日(土) '90「コーラス・イン・マリオン」
桜楓、桜友と共演 有楽町朝日ホール
(同所で1990忘年パーティー)

出席記録

| | 9/25 | 29 | 10/2 | 6 | 7 | 9 |
|----------------|------|----|------|----|----|----|
| T ₁ | 13 | 13 | 14 | 13 | 16 | 10 |
| T ₂ | 13 | 15 | 15 | 19 | 19 | 17 |
| B ₁ | 17 | 17 | 13 | 16 | 15 | 18 |
| B ₂ | 18 | 17 | 20 | 23 | 15 | 22 |
| | 61 | 62 | 62 | 71 | 66 | 67 |

【ハミダシ情報】「第五回稲グリゴルフコンペ」が十一月二日(金)、富士エースゴルフ倶楽部で開かれる。二十名参加予定。幹事は奈良原さん(三六)。祈御健闘。

稲門グリーンクラブ・第23回定期演奏会

本番当日『虎の巻』

1990.10.21 オーチャードホール

定演役員

【本部】
 演奏会総括 加藤 晴生(37)
 会計 石原 祥弘(35)
 マネージャー 穎原信二郎(42)
 サブ 佐々木 豊(59)
 チケット精算 清水 実(38)
 【ステージ】
 マネージャー 安齋 真治(47)
 サブ 石川 了(61)
 【フロント】
 チーフマネ 松島 靖宏(42)
 金岡 隆(42)
 中嶋 勝彦(42)

集合時間

役員、各担当 9:30
 現役手伝い 11:00
 稲グリメンバー 10:20

本番ステージ

14:00~ A席券引替え開始
 (場合により少し
 早めることもあり)
 15:00 開 場
 15:30 開 演
 17:40 終 演(予定)
 18:45~ 打上げ

リハーサル

10:30 声出し(リハーサル室)
 11:00~ ウェストサイド・ストーリー(ステージ)
 12:00~ 昼食(弁当・700円程度予定)
 12:50~ 阿 波
 13:20~ ニグロビ・リチャーズ
 13:50~ ロシアの歌
 14:30 ステ・リハ終了予定

楽屋案内

スタッフルーム 本部(4F)
 控室3A 堀 俊輔
 控室3B 伊藤 康英
 控室4A 長沢 護
 控室4B 岡村 喬生
 控室4C フォルク(PA)
 富永映像企画
 スペースフォト
 控室5B トップテノール
 控室5A セカンドテノール
 控室6C バリトン
 控室6A・B 早大ハイン
 リハーサル室 ベース

(第23回定演)打上げ

日時:10月21日(日) 午後6時45分~
 会場:東急ゴールデンホール
 (渋谷駅前・東急文化会館8F)
 ☎03-409-4181
 会費:A=メンバー&男性券 5,000円
 B=家族&女性券 3,000円
 (高校生、大学生の男性含む)
 C=こども券 2,000円
 (小学生、中学生)
 担当:清水卓爾(40)、小林幹郎(60)

ユニフォーム

I、II、IVステ
 稲グリユニフォーム
 黒、又は濃紺のズボン
 稲グリ棒タイ
 ワッペン、バッジ着用
 IIIステ
 Tシャツ(統一のもの)
 ブルージーンズ
 (白などは不可)
 スニーカー類

「道 遙 祭」

- 稲門グリーンクラブ
 早稲田大学校歌「都の西北」
 第一応援歌「紺碧の空」
 第二応援歌「光る青雲」
- 山本健二独唱 ピアノ伴奏 萩原照彦
 1 荒城の月 2 波浮の港
 3 鐘をおさめて 4 琵琶湖周航の歌
 5 坊がつる讃歌 6 芭蕉布
 7 耶子の実 8 さくら貝の歌
 9 初 恋 10 落葉松
- 岡 範子・山本健二 二重唱
 浜辺の歌
- 岡 範子独唱
 からたちの花 この道
- 稲門グリーンクラブ(男声合唱)
 指揮 長沢 護(36)
 1 秋のピエロ 2 ふるさと
 3 アカシアの径
 4 Hail Mary
 5 Soon Ah will
 be Done
 6 音戸の舟唄 7 最上川舟唄

道遙祭特ステ(十一・四)のこと
 最低五十名、奮ってご参加下さい

ご承知の通り、定演の二週間後の日曜日(十一月四日)には早くも特ステです。熱海稲門会関係団体主催の「熱海・道遙祭」出演で、内容は左記囲みの通りです。当初はバスでの往復を予定していましたが、帰りの時間が遅くなることから、現地集合・現地解散ということになりました。集合は午前十一時、JR熱海駅改札口を出たところ。集合後、バスにて会場の熱海観光光会館(市役所となりに向かいます。この時間に遅れた人は各自会場に向かって下さい。歩一〇分。演奏終了後は、熱海後楽園ホテル(岡武秀社長・二九一)で、ゆつくりお風呂に入って汗を流し、飲み放題、食べ放題の豪華打上げ宴会を開きます(会費二〇〇〇円予定)。また、交通費として一人四〇〇円程度の補助があります。

最低五十名の参加を募りたいと思いますので、各パートともよろしくお願いいたします。なお、宴会後、後楽園ホテルに宿泊希望の方は、早めに直接、岡社長までご連絡下さい。熱海後楽園ホテル ☎〇五五七―八二一〇―二二二 担当・穎原(四二一)

特ステ第二弾
 イトウテルミ―十周年記念会
 十一月二十七日(火)
 平日の夜の特ステですが、ギャラが大変に好条件ですので、稲グリ活動資金獲得のために是非ともご協力をお願いいたします。詳細後日発表。(担当・穎原)

【ハミダシ情報】去年から顔見知りのハイスのトロンボーン某嬢をK藤幹事長(三七)以下数名が取り巻いていたところ、H俊輔氏(五〇)に「指揮者に無断で喋らないように」と注意された。

グリークリスマスをお忘れなく

——十二月一日(土)、半蔵門会館——

第九回グリークリスマス実行委員長

永井 秀夫(四二)

アッと驚くソ連演奏旅行が終わったと思つたら、休む間もなく定演の練習、練習、練習の日々。端から見ればこれは狂気の沙汰に違いない。稲グリのエネルギーには今さらながら、恐れ入る。

さて、今年もそんな忙しい中、グリークリスマスはチャンとやります。ビンゴゲームにオークション、福引大会エトセトラ。ノ・テウ大統領は来るのかな? とところで、今年もプレセントのおねだりです。沢山あればあるほど実行委員も仕分けが楽し

みです。今から心にかけていただい、お早目に左記宛てお送り下さい。拙宅の離れは、すでにプレセント収納用にスタンバイしております。なお、今年も会場が「半蔵門会館」に変わります。お間違えのないよう、大勢のご来場をお待ち申し上げます。

☎一八四 小金井市前原町

五一一三二

永井 秀夫

☎〇四二二一八一—〇四〇四

桜友女声合唱団第七回演奏会を聴く

九月三十日(日)午後六時過ぎ、御茶の水の東花房での打上げが終つて外へ出ると土砂降りであった。台風二十号が通過中なのだから仕方がない。タクシーは止まらないし、もし幸運に空車が来ても、五百メートルのところでは叱られてしまう。勇を鼓して家まで歩くことにした。靴の中は池となり、玄関に入ると先ずズボンと靴下を取って式台に上った。駅前前の打上げ会場は正解であった。駅ぐらいいれば、こんなにはならなかつたであろう。

こうした条件の中で、桜友さんの定演が神田のカザルスホールで開かれた。以前、こまばエミナリスで聴いた「コルシカ島の十二の歌」からコンサートが始まった。五年前の無伴奏の再演を第一ステージにもつてくる。生涯青春の方々が、新たな感動を求めて歌う音楽を聴いてみると、当然のことながら、目前に迫

つた我が稲グリの定演が如何な具合になるものか?と思いをめぐらさずにはいられない。打上げで、作曲家・萩原英彦さんの「本番が一番よかった」との言に、メンバーが苦笑してささるを見て、「やっぱり同じかナ」と思ったりもしたが四ステージとも立派な演奏であった。音楽評論家というのはいかに癖があつて評論家はほめてくれるようでも必ずどこかでケナす。その人の見識の高さをひけらかすことにつながるように思われるのだが、その悪い影響を受けて、クラシックファンには、折角音楽会に行つても一晩中アラ探しと嫌いか、楽しかつたかつたらなかつたか、自分がどう思えばいいのだと思つている。各ステージとも作曲家の味わいが充分に出ていて、いい演奏だ。アンコールの「時無草」を含めて二十三曲、メンバーはさわかやかに歌い切つた。私は桜友さんが

朝日新聞10月2日(火)夕刊

この記事でチケットS券が30枚以上売れた。中野昭さん(二七)に感謝。

稲門グリークラブ

ソビエト旅行

記念演奏会

21日・渋谷

今春ソビエト演奏旅行を行った稲門グリークラブが、バス歌などロシアの歌集、手、岡村善生と指揮者の堀俊輔、そのほかの出演は、長沢護らを迎え、二十一日に東京・渋谷(指揮・伊藤康秀(ピアノ)、谷のオーチャードホールで記念「早稲田大学ハイソサエティ」の定期演奏会を開く。一ゲストラ。

出来そうにない。これは一体どういふ具合なのでしょう? 練習後の飲み代をクラブの方に少しは入れないとまずいのでしょうか?

福井忠雄(二九・会長)記

ご来聴ありがとうございました

初秋の頃となりました。皆さまにはお健やかにお過ごしのこととおよろこび申しあげます。このたびの私どもの演奏会にはお忙しいところ、ご来聴いただきましてありがとうございます。暖かいご支援を団員一同、心からお礼申し上げます。これからさらに次の目標に向かって努力してまいります。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。平成二年十月 桜友女声合唱団

(追記)お祝いを頂きましてありがとうございます。打上げにも大勢ご参加くださり感謝申し上げます。

【ハミダシ情報】九月二十九日(土)都内にて、南條雅朋さん(六〇、都庁)が富田さつきさんと職場結婚。ゴールイン。祈御多幸。

第38回早稲田大学グリークラブ定期演奏会

- 1. ドヴォルザーク 「ジプシーの歌」 (編曲・福永陽一郎、指揮・岡田 司)
- 2. コダーイ男声合唱曲集 (指揮・鎌田浩二《学生指揮者》)
- 3. 日本民謡集 (指揮・鎌田浩二《学生指揮者》)
- 4. 男声合唱とピアノのための「縄文」 (作詩・宗 左近、作曲および指揮・萩久保和明)

1989年11月24日(土)渋谷公会堂 4時半開場・5時半開演

【ハミダシ情報】 昨年のOB四連でソロをしたワグネルOBの堀内康雄さん(六一、バリトン)が第五十九回日本音楽コンクール(毎日新聞社、NHK主催)で見事入選。ブラボー!

「第23回定期演奏会プログラム」から転載

B: 徳田浩さん(31)、T: 長田茂さん(30)、B: 佐々木豊さん(59)の三人の大奮闘によって素晴らしいプログラムが出来上がりつつありますが、その中から「友好団体からのメッセージ」欄を一足お先にご紹介いたします。これを読むとヤッパシ暗譜ガンバラなければなりませんよネ! 皆さん!

おめでとうございます

友好団体からのメッセージ

第二十三回定期演奏会、おめでとうございます。最近の稲門グリーの活動は、年々凄さを増しておりますが、今年是一段と皆様の意気込みが違って感じられます。それは、ソ連演奏旅行を大成功のうちに終えた自信がそのエネルギーとなっているのでしょう。過密な練習スケジュールの合い間をぬって、仕事もこなし、このような立派な演奏会をもたれることに、敬意を表します。

すばらしい指揮者とソリストのもと、内容豊かなプログラムを思いっきり歌いあげて下さい。ご成功をお祈りいたします。
桜友女声合唱団

定期演奏会おめでとうございます。

春のソ連演奏旅行でモスクワ、レニングラードの大ホールを、拍手と「ハラショー」でいっぱいにしていらした稲グリーの皆様方は、ノリにノってこの演奏会を迎えられたようです。しかも所はオーチャードホール、プログラムはソ連で大好評だった曲に、あの「ウエストサイド」なのですから、これはもう、大成功間違いなしのはず。今回は一緒に混声ステージがないのは残念ですが、客席でワクワクして開演のベルを待ちましょう。

メンバーの方々は、大学教授や商社マン、新聞記者に雑誌編集者、そしてエンジニア、事務屋さん、弁護士さんと多士済々。日頃はお仕事に没頭されている皆様、演奏会のステージに向けて結集される、この稲グリパワーの秘密はいったい何なのでしょう。合唱の魅力とワセダ魂なのでしょう。

とにかくチラシのコピー通り、「何たって稲グリです」よね。 桜楓合唱団

数ある合唱団の中で「革命的」という修飾語の付けられるのは稲門をおいて他に見あたらないだろう。ユニークとか奇抜とか毛色の変ったという生半可な言葉では言い表わせない合唱団だ。昨年7月の東西OB四連でのカラーワイシャツとジーンズ姿の『ウエストサイドストーリー』は快挙であり、驚きであった。暴力的とも言える力と情熱は一体どこから生まれてくるのだろうか。

OB合唱団として単独でのソビエト演奏旅行は、我々の想像をはるかに超えた企画だし、今宵オーチャードホールに全ステージ暗譜で臨まれる(と聞いている)稲グリとは、一体何者なのだろう。伝統とか総力結集といった団体としての力だけでなく、きっと一人一人の中にある革命心を引き出す指導者がいるということも理由の一つではなからうか。うらやましい。

今宵はどんな革命で私達の心をゆすぶってくれるだろうか。 新月会東京支部

ソビエト連邦演奏旅行のご成功おめでとうございます。稲門グリーの皆様の相変わらずのバイタリティーに唯々感心するばかりです。本日はモスクワでの感激を渋谷で拝聴できる大変楽しみな演奏会です。さらに、ニグロやウエストサイドといった内容で、これはもう稲グリの本領発揮と言う他はないでしょう。

学生の時のように「四連のライバル」

と言った関係ではなく、OBとなって「四連の仲間」というお付き合いで、どこかの飲み屋なんかでたまたま出会っても、「早稲グリのOBの方ですか、僕は同志社ですもん」と世代も何もたちまち越えていっしょに歌ってしまおう、そういう楽しい仲間です。ですから今度、稲グリのバイタリティーの少しでもお貸しください。また来年の夏大阪で一緒にできることを楽しみにしております。本日の演奏会のご盛会をお祈りいたします。

東京クローバークラブ

モスクワ演奏旅行も大成功に終えられ、休む間もなく「オーチャード」と「オジサンのカガミ」たる稲グリーの皆様のご活躍を見る度に、同じ「オジサン」であるワグネリアンとは、オジサンでも人種が違うとしか思えません。

紙面をお借りし、稲グリファンの皆様に私どもの近況をお話いたしますと、ワグネルは、昨年に引き続き今年もオーストラリア演奏旅行を行いました。外務省後援で行いました本年の演奏旅行は、外務省よりの「日豪生活文化交流」への参加要請を受けたもので、OB合唱団と男声合唱団現役有志、ワグネルOBオーケストラとワグネルOG合唱団、そして主旨に賛同して下さった「桜楓」「しおん」等の皆様の参加を得、総勢210名のツアーとなり、シドニーオペラハウスなどで演奏会を行い、初春のオーストラリアを堪能して参りました。稲グリーの皆様、今後も共々楽しく参りましょう。

慶応ワグネルOB合唱団

稲グリによせて——100字の想い——

谷 明子(英語教師) 稲グリの皆様と筑後川の混声を歌った日からグラスを重ねること7年。暖かい優しさに浸り、共に歌う幸せを心一杯に感じてきました。万年青年たちの全曲暗譜のステージの、年々歳々の充実ぶりに、熱い拍手を送る私です♥

林 耀子(専門学校教師) 定例にご一緒できず残念 / これも知名度全国第六位の實力の証。おめでとう。広くなったライトの反射が眩しいオジサンが、実に仲々とハモって居られる風景に、稲グリのスケールの大きさと厚さを感じ、思わず敬慕。

三浦敏子(自由業) 稲グリの演奏会から素晴らしい男たちの心豊かなロマンの世界を感じます。メンバーひとりひとりの優しい人柄や、暖かい心で生きていらっしゃる日常生活まで、客席に伝わってくるようです。

田中礼子(主婦) 親愛なる稲グリのみなさま、東西四連での「Westside Story」は絶品でした。今思い出しても自然に口元がニマリしてしまいます。さすが稲グリ / 今宵は客席から迫力ある皆様のお声とお姿に熱い声援を送ります。

須藤まり子(主婦) 暗譜で通していらっしゃるのにはさすがですね。稲グリの演奏会ではいつも「歌の楽しさ」を満喫しています。今年「阿波」ニグロスビリチュアルス」など無伴奏の男声合唱が多いので特に期待しています。

森木千鶴子(大学院生主婦) 「稲グリ」の皆様、定期演奏会誠におめでとうございます。初めて稲グリの演奏会に接し早や三十年。年々、男声合唱独特の迫力、風格にも益々磨きがかかり、私をワクワクさせて下さる稲グリは永遠の恋人です。

松永和泰(会社役員) サントリーホール定演アンケートに「海外にも活動を広げたら」と書いたら、早速ソ連で大成功されたとか。稲グリは演奏もワンダフルだが実行力に脱帽。今年のブロも見事ですね。とりわけ「ウエストサイド」に期待。

渡辺雅美(大学職員) 稲グリのあの「ノリ」が、私はたまらなく好きです(もちろん声もです)。すてきなお兄様方(?)の合唱への情熱にはただならぬものを感じますが、これからは世界の稲グリをめざしてソクソクする歌を歌って下さい。

下山田香代子(主婦) 稲グリの熱狂ファンです。演奏会のCDを出してくださればいつでも聴けて嬉しいのですが、ボーイスクワットの歌集にいい歌が沢山ありますが、稲グリの魅力的な男声合唱で歌ってほしいと心から願っています。

高山弘子(無職) 稲グリの演奏会はいつも多彩で構成が素晴らしいし、その上岡村さんの歌も聴けるのですら3000円は絶対安いですわ。立派なプログラムを夕夕でくださいますし……。今年もワクワクしながら待っています。

秦 圭子(会社員) それぞれの会社で高い地位にあって多様な方々が心一つにして演奏される姿に、限りない感動を覚えます。人間らしさが失われている今の時代に、とても貴重な存在。稲グリは私に希望と勇気を与えてくれます。

大泊葉子(主婦) Tシャツにジーンズの若々しい皆様に再会できるのを楽しみにしておりました熱烈なファンの一入です。どうぞステージで大いにハッスルして、中年の魅力(?)をふりまいて下さい。客席から熱いまなざしで声援を送ります。

編集後記

■今号は定演直前号にあたるため、当初は出演者用「虎の巻」だけの一枚ペラの号外を予定していましたが、

ところが、いざ蓋を開けてみると、さりとて、通常の四頁構成にするに、は逆に記事が足りず、休日(体育の日)を楽しんでいた方お二人に電話して、涙ながらに「大至急○○○字の上原稿を書いて、あとで電話で読み上

げてください。嫌だと言ったら、お宅に火をつけたいと脅迫(某プロ指揮者が昔使った手)をおかけ様で、二人の方、ありがとうございました。(E)

■昨日(十月九日)の庄や、佐々木憲元さん(四二)が司法書士の試験を通過し、合格を手中にしました。このグッド・ニュースが、翌日以上の盛り上がり、心感に油を注ぎ、翌日こ

の時刻に四谷三丁目界隈には、結果、私まで明けて以前に勤めが、のままだし、局長邸に直行する時間が、経過した。正に運命の十九時過ぎ、嘘